

第4回地域問題研究会の報告

6月6日午後2時から第4回地域問題研究会が開催されました。参加者は10名でした。今回は、前回の県からの話に続いて鹿児島市からの話を聞きました（市政出前トーク）。テーマは市の総合計画と地方創生戦略で、政策企画課の玉井貴夫さんと地方創生推進室の片平雅人さんの2人が講師でした。

玉井さんは市の総合計画をまとめたカラーの冊子（第5次鹿児島市総合計画、概要版）に基づいて総合計画全般（基本目標や、その具体化である政策）について話されました。基本目標の内容は市民と行政との協働、緑などの環境政策、人の交流、安心安全などですが、とくに「みんなで創る」ということを強調されたかと思います。片平さんは鹿児島市の人口減少が始まっている中で、いかにそれをより緩やかな方向に持って行くかという話を「人工ビジョン・総合戦略」という冊子に基づいて話されました。より具体的には観光地域づくり、健康な市民生活、大学との連携などの話をされました。

約1時間のお二人の話の後、質疑応答にうつり、多方面にわたる議論がなされました。以下に、出された質問や意見のいくつかを挙げてみます。

若い人が留まる産業への援助が必要ではないか。食料やエネルギーの自立の方向の政策が大事ではないか。鹿児島市が発展するポテンシャルは大いにあるというが、その内容は何か。学生や非正規雇用者に対する施策を積極的に打ち出すべきではないか。社会のIT化への対応を積極的に進めるべきではないか。他市町村との連携や差別化をどう考えているのか。みんなで作る鹿児島市と言うが、まだまだ多くの市民が参加しているとは言えないのではないか、などなど。

講師はお二人とも若い行政マンで、それぞれの質問に対し、それなりに丁寧に応えていただきました。

コロナ禍の中3蜜を避け、マスクをしての集まりでした。また土曜日なので建物のドアが閉まっていましたが、ゲートの方はどういうわけか守衛さんがいて対応してくれたので、とても助かりました。参加された皆様、どうもありがとうございました。

（世話人 田島康弘）